

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、膠原病リウマチ内科では、以前に「IORRA調査」のご協力者からいただいた診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 骨粗鬆症診断補助AIを用いた、関節リウマチ患者における骨折リスク因子の研究

[研究対象者]

2011年から2017年までの6年半の期間中に東京女子医科大学の前向きコホートであるIORRA(Institute of Rheumatology, Rheumatoid Arthritis)調査（研究責任診療科：膠原病リウマチ内科、研究責任者：田中榮一准教授）への協力にご同意いただいている方（うち、2009年から2014年までの間に一度でも、同施設で診療目的に胸部単純レントゲンを撮影していらっしゃる方）

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：胸部レントゲン画像、IORRA 研究で得られた情報：性別、年齢、既往歴、身体情報（身長・体重）、疾患活動性、内服薬、合併症、骨折歴。

[利用の目的]（遺伝子解析研究： 無 ）

本研究では、AI骨粗鬆症診断補助システムを活用し、胸部レントゲン写真から推定される骨密度と骨折の関連を解析することを目的としています。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 東京大学医学部整形外科学・脊椎外科・教授 田中 榮
2. 京セラ株式会社 メディカル開発センター MHシステム開発部 部責任者 池田 豊

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2026年6月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科 准教授 田中 榮一

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科 藤崎 真由子

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）